

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

西宮市議会議員

まさたけ

田中正剛

市政・市議会報告

<http://www.masatake.jp/>



20年後の西宮のために、今やっておくべきこと。

「将来にツケを残さない政治の実現の第一歩は、みんなが現状を知ることから。」

政治家は税金の使われ方を常に市民に報告する義務があると考えて、

10年間ずっとこのような報告書を作って配ってきました。

お子さんやお孫さんのためにも、ご一読下さい。

税金のゆくえ ～自分が払った税金がどのように使われているのか

「将来を見据え踏み出す年」との方針で組まれた新年度予算。

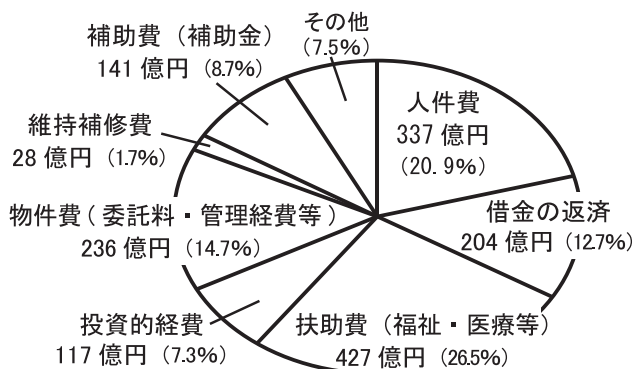
中央病院の移転に関する新たな費用は計上されませんでした。

「将来を見据え踏み出す年」との方針で組まれた平成25年度予算(総額2,839億円)には、小学校の新設や中学校へのエアコン整備、認可保育所の整備など投資的な経費に加えて、社会資本の老朽化対策や耐震化、中長期計画に基づく修繕など公共施設の維持管理に関する事業が多数盛り込まれました。また、これまでに、ビジョンなき政策推進を改めるよう指摘し続けた結果、ようやく交通政策やスポーツ政策などの計画策定が始まります。これまで提案してきた政策の進捗など詳細につきましては、次号でご報告します。一方、新たな費用は計上されなかったものの、中央病院の移転やアサヒビール西宮工場跡地の購入につ

いては検討が続いています。今年度は、将来の西宮のために非常に重要な議論と決断を要する1年になります。

■新年度予算の性質別支出の内訳(一般会計)

一般会計合計:1,609億円(前年1,597億円)



超高齢化の到来と言われていますが・・・ 場当たりの対応に追われ、備えができていません。

■地域包括ケア体制※の確立に向けた取組み

○超高齢化社会の到来をどこか他人事に捉えている市に問題提起

本市の人口推計による人口ピラミッドは下図のとおりとなっており、右面の図はそれをまとめたものです。2035年には、85歳以上の人口が約3.3倍となる計算になります。

今後、介護保険施設の一層の不足、病院や診療所の不足、認知症高齢者の増大、孤独死や老老介護などの問題が一層深刻になることが懸念されています。そこで、在宅でのケア体制の構築は喫緊の課題であり、在宅医療の充実や地域医療体制の充実など、地域包括ケアの体制の確立が急がれます。現在、中央病院の移転を検討していますが、市立病院を設置運営するだけで、医療に関する公的な役割を果たしていると言える時代ではありません。国の社会保障政策に大きく影響を受けることは確かですが、これまで都道府県に任せきりにしていた医療政策について、市も民間の医療機関と協働して主体的に取り組む姿勢が必要です。市は、目先の対応に追われ、将来のことを他人事に捉えているように思えてなりません。そこで、議会の一般質問において取り上げ、問題提起しました。

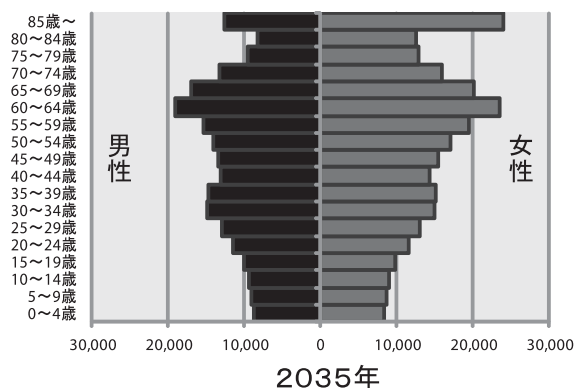
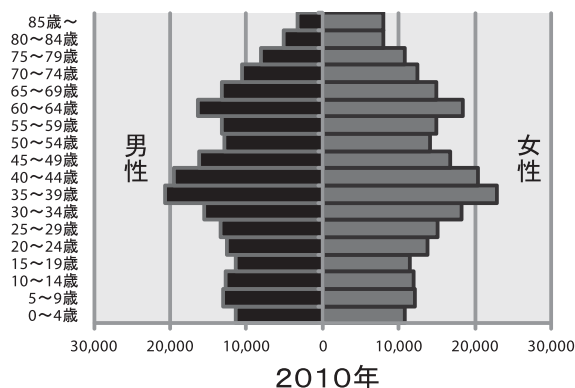
○地域包括ケア体制の確立までの道のりは非常に遠いと言わざるを得ません

「医療と介護の連携」は、地域包括ケア体制の重要な要素となります。しかし、現在の市の高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、在宅医療支援診療所や訪問看護ステーションの現状など、地域ごとの具体的な課題の分析に基づく計画となっています。そこで、課題の大きな要素である①「医療と介護の連携」②（民生委員の活動など）介護保険外の生活支援に関わる「地域福祉」の取り組みを取り上げて質問しました。市の姿勢は前向きではあるものの、漠然とした内容が多く、地域包括ケア体制の確立までの道のりは非常に遠い状況であることが露呈しました。その他、地域包括支援センター（高齢者あんしん窓口）の質の向上や適正かつ効果的な介護予防サービスの提供体制についても取り上げました。

※地域包括ケア体制とは

ニーズに応じた住宅が提供されることを基本とした上で、生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療や介護、予防のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場で適切に提供できるような地域での体制。

■西宮市の人口分布の変化予測（国立社会保障人口問題研究所の人口推計による）



心」、「公立高校普通科の通学区域の拡大に伴う課題」について取り上げました。
皆様からの声に基づいて本会議で提案しています。

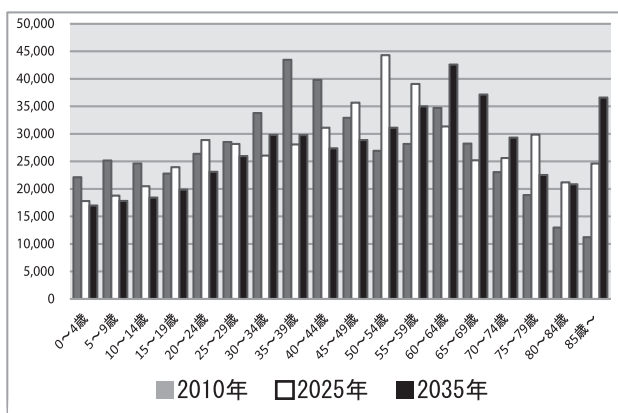
■高齢化に対応するための将来予測と計画的な取り組みが必要です

○長期的なビジョンに基づいて早急に
取り組まなければ手遅れになります

市内の要介護認定者数は平成12年～22年の10年間で7003人から14916人、市の高齢者福祉費用の総額も約123億円から約249億円と倍になりました。今後、早急に長期的な視点での必要財源を試算し、財政の硬直化の改善に取り組み、将来に備えなければ手遅れになります。そのためにもまずは、市が独自に20年、30年後の姿を見据え、目指す将来像を示すべきです。今回の私の質問を受け、市長は「国の示すビジョンをより具体化して、本市独自の現実的な医療・介護のビジョンを平成26年度までに構築する。そして、本市の医療・介護の将来像がイメージできるよう、長期的な視点から検討し、地域の実情を踏まえた現実的な検討の中で具体化することによって、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組み

たい。」と意欲を示しました。そして、今年度は、将来像を検討するための予算が計上されています。目先の対応に追われ、想定される問題点を先送りすることは、将来世代にツケを回すこととなります。今後も、これからの西宮を創っていく上で重要となるこの問題に取り組めます。

■西宮市の年齢別人口推移比較



公立学校における学級崩壊の現状と市教育委員会の対応

～新任教員の研修の充実と学校の対応の迅速化を主張

○昨年は市内7小学校で学級崩壊の状態に…。

小学校では近年5年間で、新任の正規教員が55名～76名、臨時講師が101名～188名配属されています。小学校では職務の性質上、新任の正規教員や臨時講師も担任を持たざるを得ません。そして昨年の事例の一つは、学級崩壊の状況が2学期の終わりまで解決できずにいました。子どもたちの学力の低下を招かないためにも、迅速な対策を講じられる仕組みを構築しなければなりません。教員は来年も次のその学年の児童を教えることができるかもしれませんが、子どもたちのその学年の時間は、一生に一度

しかありません。そこで私は、①研修の機会が少ない臨時講師を支援するための体制や研修、②自習時間も含めて成立しなかった授業時間の把握と補習など迅速な学習支援、③学校を支援するための人員の強化など長期化させない仕組み等を提案しました。そして早速、新年度から一部実現しています。

市民文教常任委員会を担当して4年、学校現場の情報の全てが報告されるわけではありません。この問題を取り上げたきっかけは、保護者からの相談でした。皆様からのご意見、情報提供が市政を動かします。今後とも、ご注目下さい。

その他、「公立高校普通科の通学区域の拡大に伴う課題」を取り上げました。県の準備が遅れていることから、内申書評価の公平性など、統合される学区の各市との早急な調整が必要であることを指摘し、迅速な対応を求めました。

安井小学校にもついに仮設校舎が必要に・・・。 平成26年度には、エアコンが未設置の教室に設置される見込み。

平成23年12月議会でも早期の対策の必要性を指摘した教室不足問題ですが、安井小学校では、平成26年度から対応するために、今夏の耐震化工事に引き続き、仮設校舎の設置工事が行われる予定です。そして、平成26年度には、エアコンが整備され(香櫨園小学校他2小学校とともに先行して設置されることになりました)、安井育成センターの拡張のための建替え工事も必要となる見込みです。その他にも、校舎の老朽化、校舎と体育館を結ぶ渡り廊下の設置、エレベーターの

設置など工事を伴う課題が山積しています。仮設校舎といっても、数年間は撤去されません。よって、これらの課題解消を求めるとともに、コミュニティ活動の拠点となっているグラウンドの使用に関する地域との調整についても要望しています。

また、長年要望してきました通学路の安全対策について、学校前の東西道路のカラー舗装及び側溝のふた掛け等による歩行者空間の確保についても実現する見込みです。

子どもが自然に触れることのできる空間としての夙川公園

先日、前回のチラシをご覧頂いた方から、夙川の堤防で子どもたちがもっと安心して水と親しみ、遊べる空間とすべく、夙川の水質改善についてご提案を頂きました。幼児教育の観点からも非常に貴重なご意見であると受け止めました。時間がかかることだからこそ、“今できること”から取り組み始めたいと思います。団体等の活動など皆様から情報をお寄せいただければ幸いです。

これからも、身近なことに关するご要望を通じて、将来の西宮のために政策を立案し、市に提言を続けます。ご意見をお待ちしております。



夙川公園の遊具も新しくなりました。
公園内の安全対策も要望しています。

「約束」のかたち：市政報告・意見交換会の開催/市政報告書の作成

定期的に市政報告・意見交換会も行っています。
内容や日程につきましては、お知らせを送付いたしますので、郵送先等をお教え下さい。

当報告書のバックナンバーや詳細は、
<http://masatake.jp/>

まさたけ

検索



田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務/平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選 ■政党：保守系無所属 ■所属党派：蒼土会 ■現在の担当常任委員会：市民文教常任委員会 ■市議会での主な役職：建設常任委員会副委員長(1期2年目)、厚生常任委員会委員長(1期3年目)、西宮市監査委員(2期1年目)、フレンテ問題特別委員会委員長(2期3・4年目)、病院問題特別委員会委員長(3期1年目～)

ご意見・ご要望・資料のご請求は

西宮市議会議員 **田中 正剛** 事務所
〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階
(兵庫県西宮庁舎南向かい)

TEL: 0798-22-5172

FAX: 0798-22-6172

E-mail: nishinomiya@masatake.jp

URL: <http://www.masatake.jp>

